

各室・本部の長 殿
各支社長 殿

建設・技術本部長

調査等成績評定要領

調査等における成績評定に関する手続を、下記のとおり定めたので、これにより適切に実施されたい。

記

第 1 条（目的）

この要領は、東日本高速道路株式会社が請負契約を締結した調査等の成績評定（以下「評定」という。）を行うにあたっての必要な事項を定め、厳正かつ的確な評定の実施を図り、もって調査等の競争参加者及び技術者の適正な評価に資することを目的とする。

第 2 条（評定の対象）

評定の対象は、原則として 1 件の最終の請負代金額 100 万円以上の調査等について行うものとする。

ただし、次の各号に掲げる内容に適合した場合は除くものとする。

- 一 施工（調査等）管理業務
- 二 自然災害や人為災害が発生したために破損した道路、又は自然災害や人為災害が発生したことにより破損の恐れがある道路の応急措置を目的とした緊急的に行う調査等を理由とする随意契約の調査等
- 三 申込委託を行った調査等

第 3 条（評定者）

評定は、次の各号に掲げる者（以下「評定者」という。）が行うものとする。

- 一 検査員 : 別に定める「契約の履行に関する監督及び検査要領」（以下「監督検査要領」という。）第 14 条に規定する検査員
- 二 総括技術評価員 : 監督検査要領第 4 条に規定する当該調査等の監督員
- 三 主任技術評価員 : 監督検査要領第 5 条に規定する当該調査等の主任補助監督員
なお、契約責任者が監督検査要領第 4 条の規定に基づき、自らを補助する者を置かない場合は、契約責任者自らが総括技術評価員及び主任技術評価員の評価項目の評価を行うものとする。

第 4 条（評定の時期）

評定者は、完了検査を実施したときは速やかに評定を行うものとする。

なお、一部完了検査の場合を除く。

第5条（評定の内容）

評定は、次の各号に掲げる内容について行うものとする。

- 一 専門技術力
- 二 管理技術力
- 三 コミュニケーション力
- 四 取組姿勢
- 五 成果品の品質
- 六 業務執行に係る過失等の状況

第6条（評定の方法）

評定者は、監督の状況や検査の状況の結果を踏まえ、調査等毎に的確かつ公正に評定を行うものとする。

- 2 評定者は、業務の内容に応じて採点表（別紙1～3）により評価を行うものとする。
- 3 評定者は、前項の評価により得られた結果を基に評定点集計表（別紙4）を作成するものとする。

第7条（評定結果の報告）

評定者は、前条により完了評定を行ったときは、5日以内（休日を除く。以下同じ。）に第7条3項で作成した採点表及び評定点集計表を検査責任者に報告するものとする。

- 2 検査責任者は、報告を受けたときはその内容を確認した後に完了評定表（別記様式第1号）及び調査等成績評定通知書（別記様式第2号）並びに項目別評定点（別記様式第2号別表）を作成するものとする。
- 3 検査責任者は、前項により完了評定表及び調査等成績評定通知書並びに項目別評定表を作成した場合は、速やかに契約責任者に報告するものとする。
- 4 検査責任者が自ら検査員となり評定を行う場合にあっては、1項に規定する報告は省略するものとする。

第8条（評定結果の通知）

契約責任者は、前条3項により検査責任者から評定結果の報告を受けたときは、当該調査等の受注者に対して、速やかに評定の結果を書面（別記様式第2号及び別記様式第2号別表）により通知するものとする。

第9条（評定の修正）

契約責任者は、前条により評定の通知をし、成果品の引渡しを受けた後、調査等請負契約書に基づくかしの修補を請求し、または修補に代え、若しくは修補とともに損害の賠償を請求したときは、関連する評定項目の評定結果を修正するものとする。

- 2 契約責任者は前項の修正を行ったときは、遅滞なく、その結果を当該調査等の受注者に対して修正した評定の結果を第8条に規定する書面により通知するものとする。

第10条（説明請求の受付）

契約責任者は、第8条又は第9条により評定結果の通知を行った場合は、当該調査等の受注者から評定の内容について説明請求を受け付けるものとする。

- 2 説明請求は、評定結果の通知を行った日から起算して7日（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第1条に規定する行政機関の休日（以下「休日」という。）を含まない。）以内に、説明請求書（別記様式第3号）により持参、書留郵便または電子メールで受け付けるものとする。

第 11 条（説明請求に対する回答）

契約責任者は、前条により当該調査等の受注者から評定の内容に関する説明請求を受けたときは、検査責任者及び評定者を委員として含む技術審議会の審議を経て、審議の報告を受けた日から起算して7日以内（休日を含まない。）に調査等成績評定に係る説明書（回答）（別記様式第4号）により回答するものとする。

2 契約責任者が事務所の長の場合において、前項の回答を行った場合は、事務所の長は説明請求書及び調査等成績評定に係る説明書（回答）の写しを支社の長に対し提出するものとする。

第 12 条（再説明請求の受付）

支社の長は、契約責任者が前条により説明請求の回答を行った場合は、当該調査等の受注者が回答の内容に不服がある場合は再説明請求を受け付けるものとする。

2 再説明請求は、前条により説明請求に対する回答を行った日から起算して7日（休日を含まない）以内に、再説明請求書（別記様式第5号）により持参、書留郵便または電子メールで受け付けるものとする。

第 13 条（再説明請求に対する回答）

支社の長は、前条により当該調査等の受注者から回答内容に不服があり再説明請求を受けたときは、速やかに、「入札監視委員会の設置に関する規程」（平成17年規程第34号）により設置される入札監視委員会（以下「入札監視委員会」という。）に審議を依頼するものとする。

なお、入札監視委員会の審議に係る具体的な手続は、入札監視委員会規程等によるものとする。

2 支社の長は、前項の審議の報告を受けた日から起算して7日以内（休日を除く。）に調査等成績評定に係る再説明書（回答）（別記様式第6号）により回答するものとする。

第 15 条（評定結果等の公表）

契約責任者は、次の各号の手続を行ったときは、「契約情報公表要領」（平成24年3月23日付け東高技調第419号・東高技管第59号技術本部長）に基づき公表を行うものとする。

一 第8条に基づき評定結果を通知または第9条に基づき評定の修正を行ったときは、調査等成績評定通知書（別記様式第2号及び別表）

二 第11条に基づき説明請求に対する回答を行ったときは、調査等成績評定に係る説明書（回答）（別記様式第4号）

三 第13条に基づき再説明請求に対する回答を行ったときは、調査等成績評定に係る再説明書（回答）（別記様式第6号）

《附則》

1. この要領は、平成27年4月1日以降に行う完了評定について適用するものとする。

2. 「調査等成績評定要領」（平成13年3月27日付け（最終：平成15年3月28日付け）道路公団達第7号）及び「調査等成績評定要領の運用について」（平成15年3月28日付け用管契第485号、企技第61号用地・管理部長、企画部長）は、平成27年3月31日をもって廃止する。

以 上

別記様式第1号

完了評定表

平成 年 月 日

支社（事務所名）

調査等名										
契約金額	当初請負代金額 円				最終請負代金額 円					
履行期間	当初履行期間 日間				最終履行期間 日間					
	自	平成	年	月	日	自	平成	年	月	日
	至	平成	年	月	日	至	平成	年	月	日
完了年月日（完了届提出日）	平成 年 月 日									
完了検査年月日	平成 年 月 日									
受注者	企業	住所								
		名称								
	技術者	管理技術者名								
		照査技術者名※								
		担当技術者名①								
担当技術者名②										
担当技術者名③										
発注者	検査責任者		所属等							
			氏名		⑩					
	検査員		所属等							
			氏名							
総括技術評価員		所属等								
		氏名								
主任技術評価員		所属等								
		氏名								
評価項目			評定者			業務 評定※1	技術者評定			
			主任	総括	検査員		管理※2	担当	照査	
専門技術力	提案力、改善力									
	業務執行技術力									
	施工時への配慮※3	概略								
		詳細								
コスト把握能力※3										
管理技術力	工程管理能力									
	品質管理能力									
	迅速性、弾力性、調整能力									
コミュニケーション力	説明力、プレゼンテーション力、協調性									
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観									
成果品の品質										
①小計（業務評定の合計）※4										
②業務執行上に係る過失に伴う減点										
③事故等による減点										
④瑕疵修補又は損害賠償による減点										
⑤その他（ ）										
総合評定点=①+②+③+④+⑤										

※1：各評価項目の評定点は、小数第二位を四捨五入して表示している。

※2：測量作業及び地質調査においては、管理技術者及び現場作業責任者が該当する。

※3：「施工時への配慮」・「コスト把握能力」は、設計業務のみ評定の対象とする。

※4：①小計は、小数第一位を四捨五入し整数とする。

契約の相手方

所在地

商号又は名称

代表者氏名

殿

【※支社発注の場合】

東日本高速道路株式会社〇〇支社
支社長 〇〇 〇〇 印

【※事務所発注の場合】

東日本高速道路株式会社〇〇支社
〇〇〇〇事務所
所 長 〇〇 〇〇 印

調査等成績評定通知書

貴社が受注した下記の調査等について、調査等成績評定要領に基づき評定した結果を通知します。

なお、評定の結果に疑問があるときは、当職に対してその疑問の旨を付して、この書面の通知を受けた日から起算して7日（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第1条に規定する行政機関の休日を含まない。）以内に書面により説明を求めることができます。

疑問の旨に対する説明は、書面により郵送致します。

なお、説明を求める場合の書面の送付先及び手続き等についての問い合わせ先は下記のとおりです。

記

1. 調査等名 〇〇自動車道 〇〇設計
2. 履行期間 平成〇年〇月〇日～平成〇年〇月〇日
3. 完了検査年月日 平成〇年〇月〇日
4. 評定点 別表のとおり
5. 送付先 送付方法は、持参・郵送又は電子メールとする。
〒〇〇〇-〇〇〇〇
〇〇県〇〇市〇〇区〇〇〇〇
【※支社発注の場合】
東日本高速道路株式会社〇〇支社
〇〇部 調達契約課 〇〇 〇〇宛
電話番号〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
E-MAIL〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
【※事務所発注の場合】
東日本高速道路株式会社〇〇支社〇〇〇〇〇事務所
〇〇課 〇〇 〇〇宛
電話番号〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
E-MAIL〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
6. 手続き等の問い合わせ先 上記5に同じ

以 上

別記様式第2号（別表）

項目別評定点

評価項目	評価の視点		業務評定 (評定点/満点)	技術者評定		
				管理技術者 ※1・※2 (評定点/満点)	担当技術者 ※1	照査技術者 ※1
専門技術力	提案力 改善力		点/点	点/点	点/点	点/点
	業務執行技術力		点/点	点/点	点/点	点/点
	施工時への 配慮※3	概略	点/点	点/点	点/点	点/点
		詳細	点/点	点/点	点/点	点/点
	コスト把握能力※3		点/点	点/点	点/点	点/点
管理技術力	工程管理能力		点/点	点/点	点/点	点/点
	品質管理能力		点/点	点/点	点/点	点/点
	迅速性 弾力性 調整能力		点/点	点/点	点/点	点/点
コミュニケーション力	説明力 協調性 プレゼンテーション力		点/点	点/点	点/点	点/点
取組姿勢	責任感 積極性 倫理観		点/点	点/点	点/点	点/点
成果品の品質			点/点	点/点	点/点	点/点
評定点の小計※4			点/点	点/点	点/点	点/点
業務執行に係る過失に伴う減点			点	点	点	点
事故等による減点			点	点	点	点
瑕疵修補又は損害賠償による減点			点	点	点	点
その他（ ）			点	点	点	点
総合評定点※4			100 点/点	100 点/点	100 点/点	100 点/点

※1：各項目の評定点及び満点は小数第二位を四捨五入して表示している。

※2：測量作業及び地質調査においては、管理技術者及び現場作業責任者が該当する。

※3：「施工時への配慮」及び「コスト把握能力」は、設計業務のみ評定の対象とする。

※4：評定点の小計は小数第一位を四捨五入し、整数としている。

説明請求書

平成 年 月 日

【※支社発注の場合】

東日本高速道路株式会社〇〇支社
支社長 〇〇 〇〇 殿

【※事務所発注の場合】

東日本高速道路株式会社〇〇支社
〇〇〇〇事務所
所長 〇〇 〇〇 殿

- 1 説明請求者の住所及び氏名
〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇丁目〇〇番地
電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
商号又は名称
代表者氏名
- 2 説明請求の対象となる調査等名
調査等名 〇〇自動車道 〇〇〇〇設計
契約番号 〇〇〇〇〇〇〇〇
- 3 不服のある事項
- 4 上記3の主張の根拠となる事項

文書番号
平成 年 月 日

契約の相手方

所在地

商号又は名称

代表者氏名

殿

【※支社発注の場合】

東日本高速道路株式会社〇〇支社

支社長 〇〇 〇〇 印

【※事務所発注の場合】

東日本高速道路株式会社〇〇支社

〇〇〇〇事務所

所長 〇〇 〇〇 印

調査等成績評定に係る説明書（回答）

平成 年 月 日付けで貴社から説明を求められました評定内容について、下記のとおり回答します。

本説明書に疑問があるときは、当職【事務所発注の場合は、「東日本高速道路株式会社●●支社長」と記載】に対してその疑問の旨を付して、この書面の回答を受けた日から起算して7日（「休日」を含まない。）以内に別添「再説明請求書」により、再説明を求めることができます。

なお、再説明は〇〇入札監視委員会【支社で行う入札監視委員会名を記載する。】の審議を経た上で行います。

疑問に対する再説明は、書面により回答いたします。

記

1. 調査等名

調査等名 〇〇自動車道 〇〇〇〇設計

契約番号 〇〇〇〇〇〇〇〇

2. 疑問に対する回答

3. 再説明を求める場合の手続き等の問い合わせ先

〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇丁目〇〇番地

東日本高速道路株式会社 〇〇支社 〇〇部 調達契約課

電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

以 上

再説明請求書

平成 年 月 日

東日本高速道路株式会社〇〇支社
支社長 〇〇 〇〇 殿

- 1 再説明請求者の住所及び氏名
〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇丁目〇〇番地
電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
商号又は名称
代表者氏名
- 2 再説明請求の対象となる調査等名
調査等名 〇〇自動車道 〇〇〇〇設計
契約番号 〇〇〇〇〇〇〇〇
- 3 不服のある事項
- 4 上記3の主張の根拠となる事項

文書番号
平成 年 月 日

契約の相手方
所在地
商号又は名称
代表者氏名 殿

東日本高速道路株式会社〇〇支社
支社長 〇〇 〇〇 印

調査等成績評定に係る再説明書（回答）

平成 年 月 日付けで貴社から再説明を求められました評定内容について、下記のとおり回答します。

記

1. 調査等名
調査等名 〇〇自動車道 〇〇〇〇設計
契約番号 〇〇〇〇〇〇〇〇
2. 疑問に対する回答

以 上

評価項目			評価の視点	配点	得点率 標準					得点	評価項目
					優 1.0	0.8	0.6	0.4	劣 0.2		
プロセス評価	専門技術力	提案力、改善力	業務着手段階における業務特性等の考慮	20	評価細目チェック数 0⇒0.6(基準) 1⇒0.8 2⇒1.0						<input type="checkbox"/> 当該作業(業務)の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 <input type="checkbox"/> 当該作業(業務)の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析の手法・技術に関する提案がなされた。
			業務遂行段階における提案	40	評価細目チェック数 0⇒0.6(基準) 1⇒0.8 2⇒1.0						<input type="checkbox"/> 作業(業務)遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 <input type="checkbox"/> 関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。
			業務遂行上必要となる課題の提案	20	評価細目チェック数 0⇒0.6(基準) 1⇒0.8 2⇒1.0						<input type="checkbox"/> 当該作業(業務)で不足する課題が抽出された。 <input type="checkbox"/> 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
			業務内容等改善の提案	20	評価細目チェック数 0⇒0.6(基準) 1⇒0.8 2⇒1.0						<input type="checkbox"/> 作業(業務)の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 <input type="checkbox"/> 作業(業務)の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
	小計		100								

評価項目			評価の視点	配点	得点率 標準 優 1.0 0.8 0.6 0.4 劣 0.2	得点	評価項目
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	目的と内容の理解	20	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 業務(調査)計画書に必要事項が記載されていた。 <input type="checkbox"/> 当該作業(業務)の目的、内容が理解されていた。 <input type="checkbox"/> 業務(調査)計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 <input type="checkbox"/> 特記仕様書等に示された当該作業(業務)と関連する他の作業(業務)、事業が理解されていた。
			必要情報の把握	20	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 作業(業務)着手時点において、適切に資料等が整備されていた。 <input type="checkbox"/> 作業(業務)実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 <input type="checkbox"/> 作業(業務)遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 <input type="checkbox"/> 作業(業務)遂行段階で、当該作業(業務)に有意な情報が自主的に提供された。
			作業(業務)項目、作業(業務)手法	20	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 作業(業務)項目は、特記仕様書等の設計図書の内容を満足していた。 <input type="checkbox"/> 採用された作業(業務)手法の技術的内容は、作業(業務)の目的に適合していた。 <input type="checkbox"/> 作業(業務)目的に照らし必要な作業(業務)項目が不足無く設定され、作業(業務)項目間の整合も図られていた。 <input type="checkbox"/> 提案された作業(業務)手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。
			打ち合わせ資料の内容	20	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 打ち合わせ資料に大きなミスがなかった。 <input type="checkbox"/> 打ち合わせ資料に、作業(業務)を進めるにあたっての課題等が適切に盛り込まれていた。 <input type="checkbox"/> 打ち合わせ資料に、作業(業務)を進めるにあたっての課題解決策や提案等が適切に盛り込まれていた。 <input type="checkbox"/> 適用する諸基準類のない作業(業務)、若しくは難易度の高い作業(業務)等を進めるにあたり、的確な理論展開による説明が盛り込まれていた。
			十分な技術力	20	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 作業(業務)に必要な技術基準、マニュアル、共通資料書等が十分に理解されていた。 <input type="checkbox"/> 特記仕様書等に示された当該作業(業務)固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。(測量においては、作業に応じた機器等が配置されていたこともあわせて評価する。) <input type="checkbox"/> 作業(業務)遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 <input type="checkbox"/> 新たな、あるいは高度な調査・解析の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。
小計			100				

評価項目			評価の視点	配点	得点率 標準	得点	評価項目
					優 1.0 0.8 0.6 0.4 0.2 劣		
プロセス評価	取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性	100	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動は無かった。 <input type="checkbox"/> 打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 <input type="checkbox"/> 作業(業務)遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 <input type="checkbox"/> 作業(業務)遂行段階において不明な点が生じた場合、問合せや確認が迅速になされた。
			小計	100			
結果評価	成果品の品質		目的の達成度	40	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 設計図書に提示された項目が漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> 作業(業務)遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> 作業(業務)成果は、作業(業務)目的に照らし満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い作業(業務)に対し必要な作業(業務)成果が得られた。
			的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 設計図書にある検討項目、作業(業務)遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 <input type="checkbox"/> 理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 <input type="checkbox"/> 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 <input type="checkbox"/> 設計図書にある事項、作業(業務)遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
			ミスの有無	30	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。 <input type="checkbox"/> 成果品の品質に大きく影響しない(簡易に修正できる)表記・計算等のミスも認められなかった。 <input type="checkbox"/> 誤字・脱字・表記等、軽微なミスも認められなかった。 <input type="checkbox"/> 必要書類も整備されていた。
			小計	100			

評価項目			評価の視点	配点	優 1.0 標準 0.8 0.6 劣 0.4 0.2	得点	評価項目
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	業務執行技術力	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して 0.2 0.4 0.6(基準点) 0.8 1.0 を付与する。		<input type="checkbox"/> 当該作業(業務)の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> 当該作業(業務)に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> 当該作業(業務)に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> 当該作業(業務)の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> 当該作業(業務)に必要とされる技術力を十分に把握し、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)
		小計		100			
	取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性、倫理観	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して 0.2 0.4 0.6(基準点) 0.8 1.0 を付与する。		<input type="checkbox"/> 企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 当該作業(業務)遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> 地域への貢献等に関して、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> 作業(業務)遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、作業(業務)を完成させた。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)
		小計		100			
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失				評価細目チェック数 1つ毎に3点減点		<input type="checkbox"/> 業務執行上、指摘又は指導等を行ったが、改善されなかった。 <input type="checkbox"/> 関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生時の情報連絡等、対応が適正に行われなかった。 <input type="checkbox"/> 業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。 <input type="checkbox"/> 業務実施体制に問題があった。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)
	守秘性に係る過失				評価細目チェック数 1つ毎に3点減点(チェックは1つまで)		<input type="checkbox"/> 業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任によるものと発注者が判断した。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)

評価項目			評価の視点	配点	優 1.0 標準 0.8 0.6 劣 0.4 0.2	得点	評価項目
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	作業(業務)項目 作業(業務)手法	50	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 作業(業務)項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 <input type="checkbox"/> 採用された作業(業務)手法の技術的内容は、作業(業務)の目的に適合していた。 <input type="checkbox"/> 作業(業務)目的に照らし必要な作業(業務)項目が不足無く設定され、作業(業務)項目間の整合も図られていた。 <input type="checkbox"/> 提案された作業(業務)手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。
			十分な技術力	50	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 作業(業務)に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 <input type="checkbox"/> 特記仕様書等に示された当該作業(業務)固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。(測量においては、作業に応じた機器等が配置されていたこともあわせて評価する。) <input type="checkbox"/> 作業(業務)遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 <input type="checkbox"/> 新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。
			小計	100			
	コミュニケーション力	説明力、プレゼンテーション力、協調性	説明力、プレゼンテーション力、協調性	100	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 質問に対する確に回答がなされ、一般論と当該作業(業務)固有の議論が明確に区別されていた。 <input type="checkbox"/> 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 <input type="checkbox"/> 説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 <input type="checkbox"/> 説明当事者の説明が十分なされた。説明が不十分な場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。
小計				100			

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価項目	
			優 1.0	標準 0.8	0.6	劣 0.4	0.2			
結果 評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0						<input type="checkbox"/> 設計図書に提示された項目が漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> 作業(業務)遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> 作業(業務)成果は、作業(業務)目的に照らし満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い作業(業務)に対し必要な作業(業務)成果が得られた。
		的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0						<input type="checkbox"/> 設計図書にある検討項目、作業(業務)遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 <input type="checkbox"/> 理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 <input type="checkbox"/> 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 <input type="checkbox"/> 設計図書にある事項、作業(業務)遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
		ミスの有無	30	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0						<input type="checkbox"/> チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。 <input type="checkbox"/> 成果品の品質に大きく影響しない(簡易に修正できる)表記・計算等のミスも認められなかった。 <input type="checkbox"/> 誤字・脱字・表記等、軽微なミスも認められなかった。 <input type="checkbox"/> 必要書類等も整備されていた。
	小計	100								

評価項目			評価の視点	配点	得点率標準					得点	評価項目
					優 1.0	0.8	0.6	0.4	劣 0.2		
プロセス評価	専門技術力	提案力、改善力	業務着手段階における業務特性等の考慮	20	評価細目チェック数 0⇒0.6(基準) 1⇒0.8 2⇒1.0						<input type="checkbox"/> 当該業務の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 <input type="checkbox"/> 当該作業(業務)の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析の手法・技術に関する提案がなされた。
			業務遂行段階における提案	40	評価細目チェック数 0⇒0.6(基準) 1⇒0.8 2⇒1.0						<input type="checkbox"/> 業務遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 <input type="checkbox"/> 関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。
			業務遂行上必要となる課題の提案	20	評価細目チェック数 0⇒0.6(基準) 1⇒0.8 2⇒1.0						<input type="checkbox"/> 当該業務で不足する課題が抽出された。 <input type="checkbox"/> 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
			業務内容等改善の提案	20	評価細目チェック数 0⇒0.6(基準) 1⇒0.8 2⇒1.0						<input type="checkbox"/> 業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 <input type="checkbox"/> 業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
			小計	100							

評価項目			評価の視点	配点	優 1.0 0.8 0.6 0.4 劣 0.2	得点	評価項目
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	目的と内容の理解	20	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 業務(調査)計画書に必要な事項が記載されていた。 <input type="checkbox"/> 当該業務の目的、内容が理解されていた。 <input type="checkbox"/> 業務(調査)計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 <input type="checkbox"/> 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されていた。
			必要情報の把握	20	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 業務着手時点において、適切に資料等が整備されていた。 <input type="checkbox"/> 業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 <input type="checkbox"/> 業務遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 <input type="checkbox"/> 業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。
			検討項目、検討手法	20	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 検討項目は、特記仕様書等の設計図書の内容を満足していた。 <input type="checkbox"/> 採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 <input type="checkbox"/> 業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 <input type="checkbox"/> 提案された業務手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。
			打ち合わせ資料の内容	20	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 打ち合わせ資料に大きなミスがなかった。 <input type="checkbox"/> 打ち合わせ資料に、業務を進めるにあたっての課題等が適切に盛り込まれていた。 <input type="checkbox"/> 打ち合わせ資料に、業務を進めるにあたっての課題解決策や提案等が適切に盛り込まれていた。 <input type="checkbox"/> 適用する諸基準類のない業務、若しくは難易度の高い業務等を進めるにあたり、的確な理論展開による説明が盛り込まれていた。
			十分な技術力	20	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 <input type="checkbox"/> 特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 <input type="checkbox"/> 業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 <input type="checkbox"/> 新たな、あるいは高度な調査・解析等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。
			小計	100			

評価項目			評価の視点	配点	優 1.0	標準 0.8	劣 0.6	0.4	0.2	得点	評価項目	
プロセス評価	管理技術力	工程管理能力	実施手順、 工程計画	30	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0						<input type="checkbox"/> 契約書等に記載された期限内(ex. 契約締結後14日以内)に業務工程表が提出され、速やかに作業(業務)の着手がなされた。 <input type="checkbox"/> 業務実施方針及び工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていた。 <input type="checkbox"/> 業務実施方針又は詳細な工程表には、業務実施上のポイントとなる工程目標等が具体的に示されていた。 <input type="checkbox"/> 作業(調査、検討)項目間の実施手順等が適切に計画されていた。	
			実施体制	10	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0						<input type="checkbox"/> 契約図書に基づき、管理技術者届け及び業務計画書が提出された。 <input type="checkbox"/> 業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行された。 <input type="checkbox"/> 配置された担当技術者若しくは照査技術者は、業務内容に応じた技術者が配置され、適正に履行された。 <input type="checkbox"/> 業務計画書(業務組織計画)に示された実施体制は、本業務の履行に対して十分な体制であった。	
			打合せ内容の 理解、記録	20	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0							<input type="checkbox"/> 打合せ記録簿が、打合せ後速やかに提出された。 <input type="checkbox"/> 打合せ記録簿の記載内容が打ち合わせ結果を適切に反映し、打合せ後の進め方や懸案事項等が的確に整理されていた。 <input type="checkbox"/> 受注者内(再委託先等を含む)で意思疎通がなされ、指示や打ち合わせ事項が、その後の資料等に適切に反映されていた。 <input type="checkbox"/> 打合せ時に生じた不明点等の協議・確認が適切になされ、打合せ内容が理解された(打合せ後に不明点等に対する問い合わせ等を発注者に行うことはなかった。)
			工程管理	40	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0							<input type="checkbox"/> 指示や注意を行う必要のあるような工程の遅れや、履行期限内に納品されない等はなかった。 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づく作業状況の報告、履行報告等を適切な時期に提出していた。 <input type="checkbox"/> 関連する他の業務や工事等に影響を及ぼすことなく完了できた。 <input type="checkbox"/> 履行中のポイントとなる工程目標等も含め、全体を通して工程計画どおり完了できた。
		小計		100								
	品質管理能力		ミス防止の実施	100	評価細目チェック数 0⇒0.6(基準) 1⇒0.8 2⇒1.0						<input type="checkbox"/> 「業務計画書」における「成果品の品質を確保するための計画」に記述された内容とその活動を適切に実施した等、品質の管理がされたことを確認できた。 <input type="checkbox"/> 品質管理のためのシステムが構築されている部署で業務が行われ、かつ、それらの成果への反映について確認できた。(ex. ISO9001等の認証取得状況と成果への反映の確認)	
		小計		100								

評価項目			評価の視点	配点	優 1.0 0.8 0.6 0.4 劣 0.2	得点	評価項目
プロセス評価	管理技術力	迅速性、弾力性、調整能力	当初計画の変更	40	評価細目チェック数 0⇒0.6(基準) 1⇒0.8 2⇒1.0		<input type="checkbox"/> 業務遂行中に生じた、当初工程計画や業務内容の変更要請、あるいは監督員の指示等に対応した。 <input type="checkbox"/> その結果生じた検討内容が特に優れていた。
			関連事業者間の調整	30	評価細目チェック数 0⇒0.6(基準) 1⇒0.8 2⇒1.0		<input type="checkbox"/> 発注者からの指示、あるいは発注者との協議結果に基づき、関連事業者間の調整に係わる提案資料が作成された。 <input type="checkbox"/> 作成された資料の内容が特によくまとめられていた。
			地元住民との合意形成	30	評価細目チェック数 0⇒0.6(基準) 1⇒0.8 2⇒1.0		<input type="checkbox"/> 発注者からの指示、あるいは発注者との協議結果に基づき、地元住民等との合意形成(円滑な業務履行の確保に資する地元等への配慮等を含む)に係わる提案資料が作成された。 <input type="checkbox"/> 作成された資料の内容が特によくまとめられていた。
			小計	100			
コミュニケーション力	説明力、プレゼンテーション力、協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション(資料)	30	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 <input type="checkbox"/> 図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 <input type="checkbox"/> 資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 <input type="checkbox"/> 資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。	
		理解しやすい説明・プレゼンテーション(対応)	30	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 <input type="checkbox"/> 質問に対する的確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 <input type="checkbox"/> 一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 <input type="checkbox"/> 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。	
		説明を補う努力	20	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 <input type="checkbox"/> 説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。 <input type="checkbox"/> 相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 <input type="checkbox"/> 説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。	
		円滑な業務遂行への努力	20	評価細目チェック数 0⇒0.6(基準) 1⇒0.8 2⇒1.0		<input type="checkbox"/> 密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 <input type="checkbox"/> 業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。	
		小計	100				

評価項目			評価の視点	配点	優 1.0 0.8 0.6 0.4 劣 0.2	得点	評価項目
プロセス評価	取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性	100	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動は無かった。 <input type="checkbox"/> 打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 <input type="checkbox"/> 業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 <input type="checkbox"/> 業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問合せや確認が迅速になされた。
			小計	100			
結果評価	成果品の品質		目的の達成度	40	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 設計図書に提示された項目が漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> 業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> 業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。
			的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 <input type="checkbox"/> 理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 <input type="checkbox"/> 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 <input type="checkbox"/> 設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめている。
			ミスの有無	30	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。 <input type="checkbox"/> 成果品の品質に大きく影響しない(簡易に修正できる)表記・計算等のミスも認められなかった。 <input type="checkbox"/> 誤字・脱字・表記等、軽微なミスも認められなかった。 <input type="checkbox"/> 必要書類も整備されていた。
			小計	100			

評価項目			評価の視点	配点	得点率 標準 優 1.0 0.8 0.6 0.4 劣 0.2	得点	評価項目
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	業務執行技術力	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して 0.2 0.4 0.6(基準点) 0.8 1.0 を付与する。		<input type="checkbox"/> 当該業務の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> 当該業務に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> 当該業務に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> 当該業務の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> 当該業務に必要とされる技術力を十分に把握し、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)
		小計		100			
	取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性、倫理観	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して 0.2 0.4 0.6(基準点) 0.8 1.0 を付与する。		<input type="checkbox"/> 企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 当該業務遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> 地域への貢献等に関して、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> 業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、業務を完成させた。 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)
		小計		100			

評価項目	評価の視点	配点	得点率標準					得点	評価項目
			優 1.0	0.8	0.6	0.4	劣 0.2		
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失		評価細目チェック数 1つ毎に3点減点						<input type="checkbox"/> 業務執行上、指摘又は指導等を行ったが、改善されなかった。 <input type="checkbox"/> 関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生時の情報連絡等、対応が適正に行われなかった。 <input type="checkbox"/> 業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。 <input type="checkbox"/> 業務実施体制に問題があった。 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)
	守秘性に係る過失		評価細目チェック数 1つ毎に3点減点(チェックは1つまで)						<input type="checkbox"/> 業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任によるものと発注者が判断した。 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)

評価項目			評価の視点	配点	得点率 標準	得点	評価項目
					優 1.0 0.8 0.6 0.4 0.2 劣		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	検討項目 検討手法	50	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6 (基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 <input type="checkbox"/> 採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 <input type="checkbox"/> 業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 <input type="checkbox"/> 提案された業務手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。
			十分な技術力	50	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6 (基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 <input type="checkbox"/> 特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 <input type="checkbox"/> 業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 <input type="checkbox"/> 新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。
			小計	100			
	コミュニケーション力	説明力、プレゼンテーション力、協調性	説明力、プレゼンテーション力、協調性	100	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6 (基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 質問に対する確に回答がなされ、一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 <input type="checkbox"/> 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 <input type="checkbox"/> 説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 <input type="checkbox"/> 説明当事者の説明が十分なされた。説明が不十分な場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。
小計				100			

評価項目		評価の視点	配点	得点率 標準	得点	評価項目
				優 1.0 0.8 0.6 0.4 劣 0.2		
結果 評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6 (基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 設計図書に提示された項目が漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> 業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> 業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。
		的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6 (基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 <input type="checkbox"/> 理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 <input type="checkbox"/> 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 <input type="checkbox"/> 設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめている。
		ミスの有無	30	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6 (基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。 <input type="checkbox"/> 成果品の品質に大きく影響しない（簡易に修正できる）表記・計算等のミスも認められなかった。 <input type="checkbox"/> 誤字・脱字・表記等、軽微なミスも認められなかった。 <input type="checkbox"/> 必要書類等も整備されていた。
	小計	100				

評価項目			評価の視点	配点	得点率 標準	得点	評価項目
					優 1.0 0.8 0.6 0.4 0.2 劣		
プロセス 評価	専門 技術 力	提案力、 改善力	業務着手段階における業務 特性等の考慮	20	評価細目チェック数 0⇒0.6(基準) 1⇒0.8 2⇒1.0		<input type="checkbox"/> 当該業務の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 <input type="checkbox"/> 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされた。
			業務遂行段階における提案	40	評価細目チェック数 0⇒0.6(基準) 1⇒0.8 2⇒1.0		<input type="checkbox"/> 業務遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 <input type="checkbox"/> 関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。
			業務遂行上必要となる課題 の提案	20	評価細目チェック数 0⇒0.6(基準) 1⇒0.8 2⇒1.0		<input type="checkbox"/> 当該業務で不足する課題が抽出された。 <input type="checkbox"/> 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
			業務内容等改善の提案	20	評価細目チェック数 0⇒0.6(基準) 1⇒0.8 2⇒1.0		<input type="checkbox"/> 業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 <input type="checkbox"/> 業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
			小計	100			

評価項目			評価の視点	配点	得点率 標準	得点	評価項目
					優 1.0 0.8 0.6 0.4 劣 0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	目的と内容の理解	20	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 業務計画書に必要事項が記載されていた。 <input type="checkbox"/> 当該業務の目的、内容が理解されていた。 <input type="checkbox"/> 業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 <input type="checkbox"/> 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されていた。
			必要情報の把握	20	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 業務着手時点において、適切に資料等が整備された。 <input type="checkbox"/> 業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 <input type="checkbox"/> 業務遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 <input type="checkbox"/> 業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。
			検討項目、 検討手法	20	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 <input type="checkbox"/> 採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 <input type="checkbox"/> 業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 <input type="checkbox"/> 提案された業務手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。
			打ち合わせ資料の内容	20	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 打ち合わせ資料に大きなミスがなかった。 <input type="checkbox"/> 打ち合わせ資料に、業務を進めるにあたっての課題等が適切に盛り込まれていた。 <input type="checkbox"/> 打ち合わせ資料に、業務を進めるにあたっての課題解決策や提案等が適切に盛り込まれていた。 <input type="checkbox"/> 適用する諸基準類のない業務、若しくは難易度の高い業務等を進めるにあたり、的確な理論展開による説明が盛り込まれていた。
			十分な技術力	20	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 <input type="checkbox"/> 特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 <input type="checkbox"/> 業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 <input type="checkbox"/> 新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。
小計			100				

評価項目			評価の視点	配点	優 1.0	標準 0.8	劣 0.6	0.4	0.2	得点	評価項目
プロセス評価	専門技術力	コスト把握能力	コスト把握能力	100	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0						<input type="checkbox"/> 工事費に関するコスト把握能力を有していた。 <input type="checkbox"/> 現地条件などの固有条件がコストに及ぼす影響を理解していた。 <input type="checkbox"/> コスト縮減に係わる提案があった。 <input type="checkbox"/> ライフサイクルコストや新技術・新工法等の総合的なコストを念頭をおいたコスト縮減に係わる提案があった。
			小計	100							
	管理技術力	工程管理能力	実施手順、 工程計画	30	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0						<input type="checkbox"/> 契約書等に記載された期限内(ex. 契約締結後14日以内)に業務工程表が提出され、速やかに作業(業務)の着手がなされた。 <input type="checkbox"/> 業務実施方針及び工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていた。 <input type="checkbox"/> 業務実施方針又は詳細な工程表には、業務実施上のポイントとなる工程目標等が具体的に示されていた。 <input type="checkbox"/> 作業(調査、検討、設計)項目間の実施手順等が適切に計画されていた。
			実施体制	10	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0						<input type="checkbox"/> 契約図書に基づき、管理技術者届け及び業務計画書が提出された。 <input type="checkbox"/> 業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行された。 <input type="checkbox"/> 配置された担当技術者若しくは照査技術者は、業務内容に応じた技術者が配置され、適正に履行された。 <input type="checkbox"/> 業務計画書(業務組織計画)に示された実施体制は、本業務の履行に対して十分な体制であった。
			打合せ内容の理解、記録	20	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0						<input type="checkbox"/> 打合せ記録簿が、打合せ後速やかに提出された。 <input type="checkbox"/> 打合せ記録簿の記載内容が打ち合わせ結果を適切に反映し、打合せ後の進め方や懸案事項等が的確に整理されていた。 <input type="checkbox"/> 受注者内(再委託先等を含む)で意思疎通がなされ、指示や打ち合わせ事項が、その後の資料等に適切に反映されていた。 <input type="checkbox"/> 打合せ時に生じた不明点等の協議・確認が適切になされ、打合せ内容が理解された(打合せ後に不明点等に対する問い合わせ等を発注者に行うことはなかった。)
工程管理	40	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0						<input type="checkbox"/> 指示や注意を行う必要のあるような工程の遅れや、履行期限内に納品されない等はなかった。 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づく作業状況の報告、履行報告等を適切な時期に提出していた。 <input type="checkbox"/> 関連する他の業務や工事等に影響を及ぼすことなく完了できた。 <input type="checkbox"/> 履行中のポイントとなる工程目標等も含め、全体を通して工程計画どおり完了できた。			
小計			100								

評価項目	評価の視点	配点	得点率標準					得点	評価項目	
			優 1.0	0.8	0.6	0.4	劣 0.2			
プロセス評価	品質管理能力 ※概略設計 ※基本設計	ミス防止の実施	100	評価細目チェック数 0⇒0.6(基準) 1⇒0.8 2⇒1.0						<input type="checkbox"/> 「業務計画書」における「成果品の品質を確保するための計画」に記述された内容とその活動を適切に実施した等、品質の管理がされたことを確認できた。 <input type="checkbox"/> 品質管理のためのシステムが構築されている部署で業務が行われ、かつ、それらの成果への反映について確認できた。(ex. IS09001等の認証取得状況と成果への反映の確認)
		小計	100							
	品質管理能力 ※詳細設計	ミス防止の実施	100	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0						<input type="checkbox"/> 業務計画書等に、照査体制、照査計画等が記載されていた。 <input type="checkbox"/> 業務計画書等に照査担当者が配置されていた。 <input type="checkbox"/> 照査報告書等の品質管理の記録により、照査が実施されたことを確認できた。 <input type="checkbox"/> 品質管理のためのシステムが構築されている部署で業務が行われ、かつ、それらの成果への反映について確認できた。(ex. IS09001等の認証取得状況と成果への反映の確認)
		小計	100							
	迅速性、 弾力性、 調整能力	当初計画の変更	40	評価細目チェック数 0⇒0.6(基準) 1⇒0.8 2⇒1.0						<input type="checkbox"/> 業務遂行中に生じた、当初工程計画や業務内容の変更要請、あるいは監督員の指示等に迅速に対応した。 <input type="checkbox"/> その結果生じた検討内容が特に優れていた。
		関連事業者間の調整	30	評価細目チェック数 0⇒0.6(基準) 1⇒0.8 2⇒1.0						<input type="checkbox"/> 発注者からの指示、あるいは発注者との協議結果に基づき、関連事業者間の調整に係わる提案資料が作成された。 <input type="checkbox"/> 作成された資料の内容が特によくまとめられていた。
		地元住民との合意形成	30	評価細目チェック数 0⇒0.6(基準) 1⇒0.8 2⇒1.0						<input type="checkbox"/> 発注者からの指示、あるいは発注者との協議結果に基づき、地元住民等との合意形成(円滑な業務履行の確保に資する地元等への配慮等を含む)に係わる提案資料が作成された。 <input type="checkbox"/> 作成された資料の内容が特によくまとめられていた。
		小計	100							

評価項目			評価の視点	配点	得点率 標準	得点	評価項目
					優 1.0 0.8 0.6 0.4 劣 0.2		
プロセス評価	コミュニケーション力	説明力、プレゼンテーション力、協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション(資料)	30	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 <input type="checkbox"/> 図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 <input type="checkbox"/> 資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 <input type="checkbox"/> 資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。
			理解しやすい説明・プレゼンテーション(対応)	30	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 <input type="checkbox"/> 質問に対する確かな回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 <input type="checkbox"/> 一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 <input type="checkbox"/> 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
		説明を補う努力	20	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 <input type="checkbox"/> 説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。 <input type="checkbox"/> 相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 <input type="checkbox"/> 説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。	
		円滑な業務遂行への努力	20	評価細目チェック数 0⇒0.6(基準) 1⇒0.8 2⇒1.0		<input type="checkbox"/> 密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 <input type="checkbox"/> 業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。	
	小計			100			
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性	100	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0		<input type="checkbox"/> 管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動は無かった。 <input type="checkbox"/> 打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 <input type="checkbox"/> 業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 <input type="checkbox"/> 業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問合せや確認が迅速になされた。	
		小計			100		

評価項目		評価の視点	配点	優 1.0	0.8	得点率 標準 0.6	0.4	劣 0.2	得点	評価項目
結果 評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0						<input type="checkbox"/> 設計図書に提示された項目が漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> 業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> 業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。
		的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0						<input type="checkbox"/> 設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 <input type="checkbox"/> 理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 <input type="checkbox"/> 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 <input type="checkbox"/> 設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめている。
		ミスの有無	30	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0						<input type="checkbox"/> チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。 <input type="checkbox"/> 成果品の品質に大きく影響しない(簡易に修正できる)表記・計算等のミスも認められなかった。 <input type="checkbox"/> 誤字・脱字・表記等、軽微なミスも認められなかった。 <input type="checkbox"/> 必要書類も整備されていた。
	小計	100								

評価項目			評価の視点	配点	得点率 標準	優 劣	得点	評価項目
					1.0 0.8 0.6 0.4 0.2			
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	業務執行技術力	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して 0.2 0.4 0.6(基準点) 0.8 1.0 を付与する。			<input type="checkbox"/> 当該業務の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> 当該業務に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> 当該業務に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> 当該業務の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> 当該業務に必要とされる技術力を十分に把握し、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)
		小計		100				
	取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性、倫理観	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して 0.2 0.4 0.6(基準点) 0.8 1.0 を付与する。			<input type="checkbox"/> 企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 当該業務遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> 地域への貢献等に関して、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> 業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、業務を完成させた。 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)
	小計			100				
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失				評価細目チェック数 1つ毎に3点減点			<input type="checkbox"/> 業務執行上、指摘又は指導等を行ったが、改善されなかった。 <input type="checkbox"/> 関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生時の情報連絡等、対応が適正に行われなかった。 <input type="checkbox"/> 業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。 <input type="checkbox"/> 業務実施体制に問題があった。 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)
	守秘性に係る過失				評価細目チェック数 1つ毎に3点減点(チェックは1つまで)			<input type="checkbox"/> 業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任によるものと発注者が判断した。 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)

評価項目			評価の視点	配点	優 1.0	0.8	得点率 標準 0.6	0.4	劣 0.2	得点	評価項目
プロセス 評価	専門 技術 力	業務執行技術 力	検討項目、 検討手法	50	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0						<input type="checkbox"/> 検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 <input type="checkbox"/> 採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 <input type="checkbox"/> 業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 <input type="checkbox"/> 提案された業務手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。
			十分な技術力	50	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0						<input type="checkbox"/> 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 <input type="checkbox"/> 特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 <input type="checkbox"/> 業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 <input type="checkbox"/> 新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。
	小計				100						
	コミ ユニ ケー ション 力	説明力、 プレゼンテー ション力、 協調性	説明力、 プレゼンテー ション力、 協調性	100	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0						<input type="checkbox"/> 質問に対する確に回答がなされ、一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 <input type="checkbox"/> 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 <input type="checkbox"/> 説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 <input type="checkbox"/> 説明当事者の説明が十分なされた。または、説明が不十分な場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。
			小計				100				

評価項目		評価の視点	配点	優 1.0	0.8	得点率 標準 0.6	0.4	劣 0.2	得点	評価項目
結果 評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0						<input type="checkbox"/> 設計図書に提示された項目が漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> 業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> 業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。
		的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0						<input type="checkbox"/> 設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 <input type="checkbox"/> 理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 <input type="checkbox"/> 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 <input type="checkbox"/> 設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
		ミスの有無	30	評価細目チェック数 0⇒0.2 1⇒0.4 2⇒0.6(基準) 3⇒0.8 4⇒1.0						<input type="checkbox"/> チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。 <input type="checkbox"/> 成果品の品質に大きく影響しない(簡易に修正できる)表記・計算等のミスも認められなかった。 <input type="checkbox"/> 誤字・脱字・表記等、軽微なミスも認められなかった。 <input type="checkbox"/> 必要書類等も整備されていた。
	小計	100								

⑥減点基準等

現行要領（H13. 3. 27道路公団達第7号）					国土交通省（H23. 3. 28国官技第360号）					備考																				
<p>1. 事故等による減点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>口頭注意</th> <th>文書注意</th> <th>指名停止 1ヶ月まで</th> <th>指名停止が 1ヶ月を超え</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>考查点</td> <td>-3点</td> <td>-5点</td> <td>-10点</td> <td>-15点</td> </tr> </tbody> </table>					区分	口頭注意	文書注意	指名停止 1ヶ月まで	指名停止が 1ヶ月を超え	考查点	-3点	-5点	-10点	-15点	<p>1. 事故等による減点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>口頭注意</th> <th>文書注意</th> <th>指名停止 1ヶ月まで</th> <th>指名停止が 1ヶ月を超え</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>考查点</td> <td>-3点</td> <td>-5点</td> <td>-10点</td> <td>-15点</td> </tr> </tbody> </table>					区分	口頭注意	文書注意	指名停止 1ヶ月まで	指名停止が 1ヶ月を超え	考查点	-3点	-5点	-10点	-15点	
区分	口頭注意	文書注意	指名停止 1ヶ月まで	指名停止が 1ヶ月を超え																										
考查点	-3点	-5点	-10点	-15点																										
区分	口頭注意	文書注意	指名停止 1ヶ月まで	指名停止が 1ヶ月を超え																										
考查点	-3点	-5点	-10点	-15点																										
<p>2. 瑕疵修補及び損害賠償による減点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>瑕疵修補又は損害賠償の実施</th> <th>故意又は重大な過失により瑕 疵修補又は損害賠償の実施</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>考查点</td> <td>-10点</td> <td>-20点</td> </tr> </tbody> </table>					区分	瑕疵修補又は損害賠償の実施	故意又は重大な過失により瑕 疵修補又は損害賠償の実施	考查点	-10点	-20点	<p>2. 瑕疵修補及び損害賠償による減点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>瑕疵修補又は損害賠償の実施</th> <th>故意又は重大な過失により瑕 疵修補又は損害賠償の実施</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>考查点</td> <td>-10点</td> <td>-20点</td> </tr> </tbody> </table>					区分	瑕疵修補又は損害賠償の実施	故意又は重大な過失により瑕 疵修補又は損害賠償の実施	考查点	-10点	-20点									
区分	瑕疵修補又は損害賠償の実施	故意又は重大な過失により瑕 疵修補又は損害賠償の実施																												
考查点	-10点	-20点																												
区分	瑕疵修補又は損害賠償の実施	故意又は重大な過失により瑕 疵修補又は損害賠償の実施																												
考查点	-10点	-20点																												
					<p>3. 低入札価格調査における虚偽説明等による減点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>調査対象者の故意又は重大な 過失による虚偽説明等の場合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>考查点</td> <td>-10点</td> </tr> </tbody> </table>					区分	調査対象者の故意又は重大な 過失による虚偽説明等の場合	考查点	-10点																	
区分	調査対象者の故意又は重大な 過失による虚偽説明等の場合																													
考查点	-10点																													
					<p>4. 業務コスト調査における虚偽説明等による減点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th>調査票等に 一部記入ミスがあるとき</th> <th>調査票等に 多数記入ミスがあるとき</th> <th>受注者の故意又は重大な過失 による虚偽報告の場合</th> </tr> <tr> <th>調査票等に 軽微な不備があるとき</th> <th>調査票等に 一部不備があるとき</th> <th>相当の理由なく期限内に 調査票等の提出がないとき</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>考查点</td> <td>-3点</td> <td>-5点</td> <td>-10点</td> </tr> </tbody> </table>					区分	調査票等に 一部記入ミスがあるとき	調査票等に 多数記入ミスがあるとき	受注者の故意又は重大な過失 による虚偽報告の場合	調査票等に 軽微な不備があるとき	調査票等に 一部不備があるとき	相当の理由なく期限内に 調査票等の提出がないとき	考查点	-3点	-5点	-10点										
区分	調査票等に 一部記入ミスがあるとき	調査票等に 多数記入ミスがあるとき	受注者の故意又は重大な過失 による虚偽報告の場合																											
	調査票等に 軽微な不備があるとき	調査票等に 一部不備があるとき	相当の理由なく期限内に 調査票等の提出がないとき																											
考查点	-3点	-5点	-10点																											

考査基準

1. 評価員ごとの考査基準

(1) 主任技術評価員及び検査員

主任技術評価員及び検査員は、評定に際し、当該調査等の履行状況に応じ、各評価項目の評定を評価者毎に別紙1又は別紙3により行うものとする。

なお、評価項目の追加、削除、もしくは評価比重の変更は行ってはならないものとする。

(2) 総括技術評価員

総括技術評価員は、評定に際し、評定趣旨を十分に理解し尊重した上で、当該調査等の履行状況に応じ、各評価項目の評定を別紙2により総合的に行うものとする。

2. 総括技術評価員が行う事故等による減点等の取扱い

(1) 事故等による減点

当該調査等履行中に受注者に起因する事故等が発生し競争参加資格停止等の措置を行った場合には、当該調査等の総合評定点に対して別表-1のとおり減点措置を行うものとする。

なお、減点を行うときは、その事象に応じて別紙4の⑥・⑦・⑧のいずれかにより行うものとする。(ただし、複数ある場合は、それぞれの事象に応じて減点を行うものとする。)

《別表-1：受注者に起因する事故等が発生した場合の減点基準》

区分	口頭注意	文書警告	資格停止 1ヶ月迄	資格停止 1ヶ月以上
考査点 (減点)	－ 3点	－ 5点	－ 10点	－ 15点

【適用例】

- ・ 入札前に提出した当該調査等の参加表明書又は技術提案書等に虚偽事実が判明した場合
- ・ 発注者に承諾無しに当該調査等に関する権利義務、成果物を第三者に譲渡又は承継、公開した場合
- ・ 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した場合
- ・ 一括再委託、請負を行った事実が判明した場合
- ・ 打合せ協議又は検査の実施にあたり、監督員や検査員等の職務執行を妨げた場合
- ・ 当該調査等において過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された場合
- ・ 当該調査等において安全管理の措置が不適切であったために、死傷者が生じさせた関係者事故、又は重大な損害を与えた公衆災害が発生させた場合

(2) 瑕疵修補及び損害賠償による減点

成果品に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約書のかし担保条項等に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合には、当該調査等の総合評定点に対して、別表－２のとおり減点措置を行うものとする。

ただし、ここでいう瑕疵修補とは、軽微なミス of 修正ではない大幅な修補をいう。

また、要領第9条に基づき評定の結果を通知後に当該事象が発生した場合は、要領第10条に定める評定の修正を行うものとする。

なお、減点を行うときは、その事象に応じて別紙4の⑨により行うものとする。

《別表－２：瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点基準》

区分	瑕疵修補又は損害賠償の実施	故意又は重大な過失により 瑕疵修補又は損害賠償の実施
考查点 (減点)	－10点	－20点

(3) 低入札価格調査における虚偽説明等による減点

「調査等における低入札価格調査について（要領）」（平成24年6月26日付け東高技調第99号技術本部長）3－32の規定により、低入札価格調査資料に虚偽の事実があったことが判明した場合は、当該調査等の総合評定点に対して、別表－３のとおり減点措置を行うものとする。

なお、減点を行うときは、別紙4の⑩により行うものとする。

《別表－３：低入札価格調査資料の虚偽説明等が明らかとなった場合の減点基準》

区分	調査対象者の故意又は重大な過失による虚偽説明等の場合
考查点 (減点)	－10点

3. 採点表等の取扱い

(1) 採点表及び集計表の区分

採点表及び集計表は「測量・単純調査」、「調査・計画業務」、「設計業務」の3種類あるが、その区分は、別表-4を参考として扱うものとする。

《別表-4：採点表及び集計表の区分》

測量・単純調査	調査・計画業務	設計業務
測量業務	地質・土質調査のうち プロポーザルによる契約	道路設計
地質・土質調査のうち プロポーザル以外による契約	環境調査のうち プロポーザルによる契約	橋梁設計
環境調査のうち プロポーザル以外による契約	交通量推計	トンネル設計
交通量調査	権利調査	標識設計
図面・調書作成	土地評価業務	電気設備設計
記録・資料作成	物件等調査	通信設備設計
品質調査	事業損失関係調査	機械設備設計
関連公共事業・施設調査	補償関連業務	造園設計
	電算業務	
	気象関係調査	
	経済調査	

(2) 対象業務が複数の業務にまたがる場合の取扱い

対象業務が、別表-4のうちの複数の業務にまたがる場合においては、業務の目的、金額が勘案し、原則として主たる業務の採点表を適用するものとする。

以 上